

ブラジルの金融政策について

<金利据え置きも、利上げの可能性示唆>

ブラジル中央銀行(以下、BCB)は3月6日(現地時間)の金融政策委員会において、政策金利を7.25%に据え置くことを決定しました。

発表された声明文では、昨年10月から今年1月まで用いられた「長期にわたって政策金利を安定させる」という主旨の文言が削除されました。「委員会は、次回の会合までマクロ経済シナリオの進展を見守り、金融政策の次の手段を決定する」と述べられており、インフレ圧力が高い状況が続いた場合の利上げの可能性を示唆する内容となりました。

<ブラジルレアルは足元でもみ合い>

2012年以降、レアルは1米ドル=2.0~2.1レアル程度での安定的な推移を続けていました。しかしながら、当局の為替介入や利上げ観測の高まりなどを受け、1月後半から2月前半にかけてレアルは対米ドルで大きく上昇しました。また、円が主要通貨に対して弱含んだことで、年初から2月前半にかけてレアルは対円でも上昇しました。

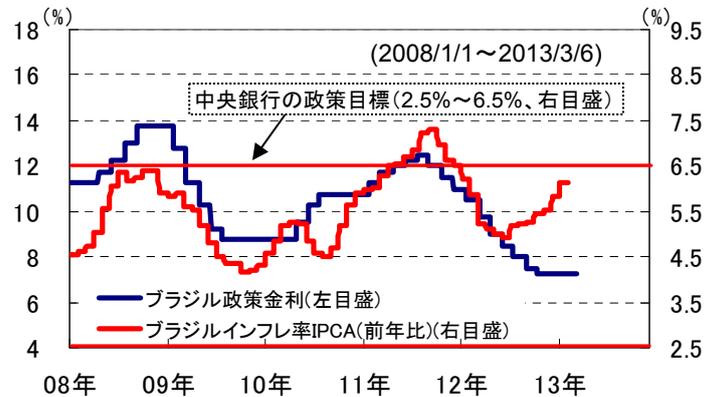
2月半ば以降、レアルは対米ドル、対円ともにもみ合いを続けています。3月6日の海外終値では、1米ドル=1.97レアル、対円では1レアル=47.74円程度となっています。

<レアルは底堅い見通し>

2012年10-12月期におけるブラジルの実質GDP成長率は前年比+1.38%にとどまる一方、1月の消費者物価指数は前年比で+6.15%とBCBの政策目標上限(6.5%)近くで推移しています。BCBはインフレ懸念が更に高まれば利上げを検討するものと思われます。

市場では、世界的に景気が緩やかに回復するとの期待からリスク選好的な動きが続いています。このような環境において、レアルは相対的に金利水準が高い上、BCBによる利上げの可能性も考えられることから、米ドルや円に対して底堅く推移すると予想しています。足元のブラジル経済はやや厳しい状況であるものの、ブラジル政府の減税やインフラ投資等の施策によって経済が下支えされると見られることもレアルのサポート要因になると考えられます。

<インフレ指標と政策金利の推移>



<ブラジルレアル為替の推移>



<ブラジルGDP成長率の推移>



出所: Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

商号等
加入協会

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.20750%（但し、最低2,625円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会